

# 子どもたちのちくせん 2024

今年も西郷義務教育学校 6 年生がちくせんについて学んでいます。9 月の授業では、ちくせん実行委員を含む地域の方々と「トークフォークダンス」をしました。「美郷のためにどんなことをしているの?」「美郷のどんなところが好き?」「将来、何をやりたい?」など、出されたテーマについて1対1で、1分のトーク。目的の「仲良くなること」は達成できたでしょうか?

子どもたちの想いにも触れるステキな時間になりました。

一番盛り上がったのは給食の話だったかも!?

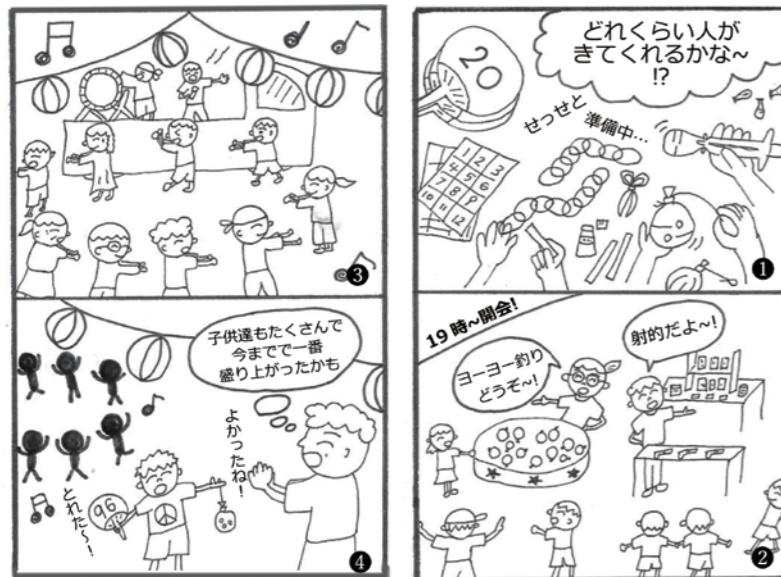
美郷北義務教育学校でも 10 月 16 日(水)に地域の方と中学生の対話の場を予定しています。

ご協力よろしくお願いします!!



## ちくせんマンガ

作いまふくとしこ（集落支援員）



ちくせん共催での小原盆祭り  
100人以上の来場に、お子様がたくさん参加され、大いに賑わいました♪

## 秋冬イベント

詳細は各区の Instagram  
をチェックしてください!!

### ●キャンプしようぜ（若宮区）

日 時：9月 28 日(土)  
15:00～設営開始  
会 場：若宮造次郎公園  
・食べ物、飲み物はご持参ください  
・翌朝はご来光と一緒に拝みませんか？

### ●ともだちコンサート in 美郷（峰区）

日 時：11月 4 日(祝) 13:00～  
会 場：西郷農村環境改善センター  
入場料：子ども・学生 無料、大人 500 円  
問合せ：東さん (080-5205-2176)  
・峰ちくせんの実行委が企画。作曲家・絵本作家の中川ひろたかさんとケロポンズがやってくる！

### ●餅つき（小川区）

日 時：11月 10 日(日) 予定

info



9月 9 日から、武蔵野美術大学生 8 人が約 1 か月間美郷町に滞在しています。若宮ちくせん実行委員会を中心に、地域の方々のご協力をいただき、「若宮地区の魅力や価値を見る化する」ことを目的として、下記イベント等を開催予定です。  
ぜひ、ご参加ください！

#### ●武蔵美（ムサビ）イベント情報

・9月 28 日(土) 若宮地区での発表会  
@若宮コミュニティセンター  
・10月 4 日(金) 美郷町での暮らしの振り返り報告会  
@役場本所

#### ●ちくせんかわら版の配布予定場所（一部）

美郷町役場、北郷支所、南郷支所、南郷温泉 山霧  
美郷レイクランド、美郷の蔵、いつもや、北の郷  
地蔵の里

発行：美郷町政策推進室  
0982-62-6203

# 『ちくせん』かわら版

令和6年9月発行

美郷町政策推進室 電話：0982-62-6203

2024  
秋号

通算 9 号

## ちくせんって？



自然と人の営みがつながった美しい風土や文化が残る美郷町。

「ちくせん」とは、そんな美郷町内の行政区（全 24 地区）において、生活に必要な仕組み、サービス、活動を、住民自らが企画・実施する取組であり、令和2年度から町の事業として推進しています。

各地区の実行委員会が、「無理をせず」「前向きに」「自分事化」をキーワードとして、『色とりどり』の取組を実施していますので、是非ご参加ください！

## MISATO TOWN MAP



QRコード

地元学とは？  
地域住民の皆さんのが先生役となり、子どもたちや地域外からの訪問者が地域の暮らしを学ぶ取り組みです。地元の方にとっては当たり前のことで、外からの、もしくは子どもたちの新鮮な目を通して見直すことで、地域の魅力を再認識するのがねらいです。

## 入下区にて地元学を実施

### 「自分が生まれる前の 入下区を初めて知った」

9月 7～8 日、美郷北義務教育学校の中学生と入下区住民による地元学が行われました。3つのテーマ「歴史・文化：見性寺」「農業：さるまっこ」「むらづくり：町並み・地域活動」ごとに、美郷北義務教育学校の中学生 2 人とピンチヒッターで西郷義務教育学校 4 年生が参加。先生役には、久義一晋さん、戸高孝敏さん、井本義春さんに案内いただきました。



#### ●地区の方からの感想

「子どもたちと一緒に過去を振り返る、貴重な時間でした」「私たちにも楽しい時間をありがとうございました」「入下区はもともと団結力のある地区。先輩方も話し合いを繰り返し、保育園などいち早く取り入れてきた歴史があります。その精神を受け継いでこれからも前向きにやっていけたらと思いを新たにしました」

#### ●子どもの感想

「こんな風に地区の人たちに発表するのは初めてだったので、緊張しましたが最後までやれてよかったです」(新田夏姫さん) / 「自分が生まれる前の入下は本当に栄えていたんだなと発見があり充実した2日間でした」(川西いさみさん)





山本滉成さん  
北郷長野区  
地域おこし協力隊  
(炭焼き職人)

静岡県島田市出身。26歳。  
2023年6月に美郷町に移住し9月より地域おこし協力隊として炭焼きを学ぶ。  
今年1月に結婚し、最近、第1子が誕生。

#### Q1 今は美郷町でどんなことを？

2023年6月より宇納間備長炭の研修生として学んでいます。その前はJICA派遣でカンボジアでサッカーコーチをしていました。帰国したら炭焼きに挑戦すると決めていたんです。今は炭焼きを学びながら長野区で暮らしています。北郷のサッカーのサブコーチも声をかけてもらっています。彼女も美郷町へ移住して今年1月に結婚し、最近、子供が生まれました。

#### Q2 炭焼きはどんなところが面白いですか？

「備長炭製炭指導者の会」には6人の指導者がいて、2ヶ月ごとに一人ずつの元をまわりました。同じ炭焼きでも一人ひとり仕事の仕方が異なります。火入れしたら30日間は蓋をしたままずっと焚き続けます。一ミリ単位で風穴を調整して温度管理するのが難しいのですが、そこが奥深い魅力でもあります。備長炭は高級品で、料亭やうなぎ屋などで使われています。質がいい完成した備長炭を見ると、達成感がありますね。



炭窯の前で、師匠の狩峰さんと。

#### Q3 暮らしの面で不便はないですか？

もともと自然が豊かな場所に暮らしたいと思っていましたので、この環境は魅力です。まったく不便には思わないんですよね。お店や娯楽施設は限られていて、私が以前いたカンボジアよりもしかしたら店は少ないかもしれません。でも地元の方々が親切で、野菜を分けてくださったり、飲み会にも誘ってくれて温かいコミュニティの一員として歓迎してくださり、不便さはほとんど感じません。

#### Q4 この先、ちくせんに関わりたいですか？

ちくせんのメンバーではありませんが、いつでも関わりたいと思っています。消防団にも入ったし、誘われたらほぼ断らない主義なんで。少しでも地区が住みよくなったらいいですね。いま個人的に欲しいのはジビエの解体所です。北郷には狩猟やる人が多いんです。いま教えてもらっている罠の師匠もそうですし。解体場があったらお肉にして販売もできるから、地区的ビジネスにもなるんじゃないかなと思います。



いま暮らす、長野区の家の前にて。妻の水流(みる)さんと。



かかし村は10月6日(日)  
～令和7年1月初旬に開村  
予定。お楽しみに！

フォトコンテスト  
昨年のかかし祭りで展示したフォトコンテスト。今年はイベントはないがちくせん実行委員もかかし作りや左近太郎作りで参加する予定。

Q4 これからやっていきたいことは？  
Q3 も盛んですね。  
Q2 昨年の地元学の手ごたえは？  
Q1 花水流はどんなところ？

まずは地元出身者が戻りたいと思えるようになります。お互いが支え合いながら、楽しくやつていくのが大事だと思います。昨年、新しい公民館ができたので、農用地管理組合で古い公民館を利用できないか検討しています。直売所や飲食ができる場所を作れたらいいです。楽しみがエネルギーに変わり、地区を支えるのだと思います。

稲刈り後の田んぼで開催しています。昨年は産業部と話し合って、期間中の週末にイベントを開きました。射的、ステージや梨の重さコンテストなど盛り上りました。一昨年から記帳ノートを置いていて、これを読むと励みになりますね。また、花水流という地名に合わせて花の植栽もしています。コスモスとヒガンバナは10数年前から農用地管理組合で始めました。昨年からは私も畑にヒマワリを植えています。ヒマワリと権現山がきれいですよ。

「かかし村」は8年前から地区の産業部で、

# ちくせんの わ

ちくせんで繋がる人にスポットをあて、各地区での活躍を紹介します



岩下 勇太さん  
元南郷神門中区  
ちくせん実行委員

日南市油津在住。  
令和3年度～令和5年度  
南郷幼少中一貫校に勤務。  
中学の数学教師。  
趣味はランニング。



つくった法被を来て神門中区のちくせんメンバーと一緒に

#### Q3 気持ちの変化などはありましたか？

初めの頃は、自分の子どもにも色々な体験をさせたい！という気持ちが大きかったです。南郷で暮らすうちに、子どもも含めて名前を覚えてもらったり、ご近所の方に野菜をいただしたり、キムチをつくり、ランニング中に話しかけてもらったり・・・まちでは味わえないコトを家族でたくさん経験させてもらいました。そうするうちに、何かこの方々に恩返しがしたいという気持ちが強くなっていきました。そんなこともあり、3年目の春、最後の仕事として、ちくせん交流会での発表をさせてもらいました。



キムチづくり体験



ちくせん交流会では親子で発表

#### Q1 ちくせんにかかわるきっかけは？

転勤をきっかけに家族で南郷にやってきました。期間限定の暮らしですし、せっかく南郷で暮らすからには何かしたい！という気持ちでいました。ただ、南郷に来て1年目は、コロナ禍で、ちくせんと耳にするけど実際に動いていない状況で、私自身まだ他人事でした。翌年、いよいよメンバーを増やして動き出そうという流れもあり、ご近所の方に声をかけてもらい、迷わず参加しました。

#### Q2 ちくせんにかかわって面白かったことは？

南郷に来て2年目。継続性、資金がなくなった時にどうするか、将来の負担にならないか、ひたすら話し合いを続けました。そのうち、師走祭りが復活し、新しいコトもいいけど、今までやってきたコトを盛り上げて、地区内の交流を深めようと気運が高まりました。南郷に来て3年目。春祭りで山菜のふるまいをすることが決まりました。私はお揃いの法被をつくることを担当しました。ちくせんにかかわって、色々な事が人のつながりで成り立っていることが新鮮でとても面白かったです。準備段階の何もないところから積み上がって生み出していく過程が、一番ワクワクした部分だと思います。

#### Q4 これからやっていきたいことは？

教えている子どもたちが10年後、地域のことを好きだと思える子になってほしい、遠くに住んでいても地元が気になる、それでも良いと思う。そのためにも、今の私にできることは、美郷町を含め地域のことをたくさん子どもたちに伝えていくことだと感じています。そう思えるようになったのは、美郷での暮らしがあったからだと思います。



池田孝二郎さん  
西郷花水流区  
ちくせん実行委員  
総務部

花水流出身  
在住。  
さまざまな仕事を経験し、30歳のときにJターン。  
長く看板作成を手がけてきた。  
農用地管理組合員の書記も務め、花いっぱい活動  
にも取り組む。